

30年8月分 製品市場の荷動き・価格先行き動向調査

1. 調査実施期間 平成30年 8月1日～ 30年8月10日

2. 調査実施方法

全国の製品市場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
8月分の回答企業数は7社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向 Weight. D. I.

品目		30/8月	9月	10月
入荷動向	国産材製材品	△ 14.3	0.0	△ 7.1
	外材製材品	△ 25.0	△ 8.3	△ 16.7
	その他	—	—	—
販売動向	国産材製材品	△ 28.6	7.1	7.1
	外材製材品	△ 33.3	△ 8.3	0.0
	その他	—	—	—
在庫動向	国産材製材品	△ 28.6	7.1	△ 7.1
	外材製材品	△ 16.7	0.0	△ 8.3
	その他	—	—	—

・国産材製材品の入荷動向は8月の減少から9月は横ばい、10月は再び減少に。外材製材品は3カ月連続減少。

・国産材製材品の販売動向は8月の減少から9月、10月は増加に。外材製材品は8月、9月の減少から10月は横ばいに。

・国産材製材品の在庫動向は8月の減少から9月は増加、10月は再び減少に。外材製材品は8gツの減少か9月は横ばい、10月は再び減少に。

(2) 価格動向 Weight. D. I.

品目		30/8月	9月	10月
スギ	柱角 KD10.5×3	7.1	0.0	0.0
	柱角 KD12×3	△ 7.1	0.0	0.0
	通し柱 12×6	10.0	0.0	0.0
	桁角	0.0	0.0	0.0
	母屋角	0.0	0.0	0.0
	タルキ	0.0	0.0	0.0
	間柱	0.0	0.0	0.0
	加工板	0.0	0.0	0.0
	ヌキ	0.0	0.0	0.0
	平割	7.1	0.0	0.0
ヒノキ	柱角 KD10.5×3	0.0	0.0	0.0
	柱角 KD12×3	0.0	0.0	0.0
	土台角 10.5×4	0.0	0.0	0.0
	土台角 12×4	0.0	0.0	0.0
	通し柱 12×6	0.0	0.0	0.0
カラマツ土台角10.5×4	0.0	0.0	0.0	
米マツ平角	10.0	0.0	0.0	
米マツ割物	12.5	0.0	0.0	
北洋エゾマツタルキ	0.0	0.0	0.0	
北洋アカマツタルキ	10.0	10.0	10.0	

・スギの価格動向は保合。
・ヒノキは全ての品目で横ばい。
・カラマツ土台角は横ばい。
・米マツ平割、割物とも強含み。
・北洋エゾマツ横ばい。
・北洋アカマツタルキはやや強含み。

モニターからのコメント

(荷動き)

・米ツガは入荷少ない。アカマツは3mがあまりない。販売動向は8月は日数も少なく動き悪い。10月は記念市のため多少は良いと思われる。10月の記念市に向け、9月は仕入も多くなるので在庫は増える(関東)。

・8月は国産材製材品の入荷、在庫が減少(中部)。

・入荷動向は、販売不振のためスギ、ヒノキ、米材、北洋材の入荷少ない。販売動向は、8月は全体的に低調。在庫は国産材、外材製材品とも減少。9月以降国産材製材品は増える見通し(中部)。

・7月の水害によりスギ、ヒノキ原木が不足している。北洋アカマツタルキは良材が不足気味(近畿)

(価格動向)

・スギ柱角(KD10.5cm) 63,000円/m³、(KD12.0cm) 63,000円/m³、スギ桁角(東北材グリーンラフ) 42,000円/m³、母屋角(東北材)(二等) 30,000円/m³、スギタルキ(東北材) 45,000円/m³、スギ間柱(KD) 63,000円/m³、スギ加工板(グリーン材) 東2,800円、(KD) 東4,800円、スギヌキ(東北) 43,000円/m³、秋田材52,000円/m³ スギ平割(プレーナー) 45,000円/m³、同(ラフ) 43,000円/m³ ヒノキ柱角(KD)・土台角10.5cm、12.5cm 85,000円/m³、米マツ平角 KD 70,000円/m³、米マツ割物AD 75,000円/m³、北洋アカマツタルキ(アSEMBル単価) (S) 70,000円/m³、(P) 60,000円/m³、(バンドル単価) (S) 68,000円/m³、(P) 58,000円/m³(関東)。

・スギ製材品の価格は安定している。ヒノキ柱角、土台角とも高値で安定している。米マツは、8月に平角、割物の価格が上昇した模様。仕入れコストが高値で安定している(中部)。

・WW間柱は在庫調整が進み値上り気味(近畿)。